

Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

**2017年度 一般社団法人 にんしんSOS東京  
日本財団助成金事業完了報告書：**  
③ 事業実績報告

**「にんしん」をきっかけに、  
誰もが主体的に生きていける社会へ**

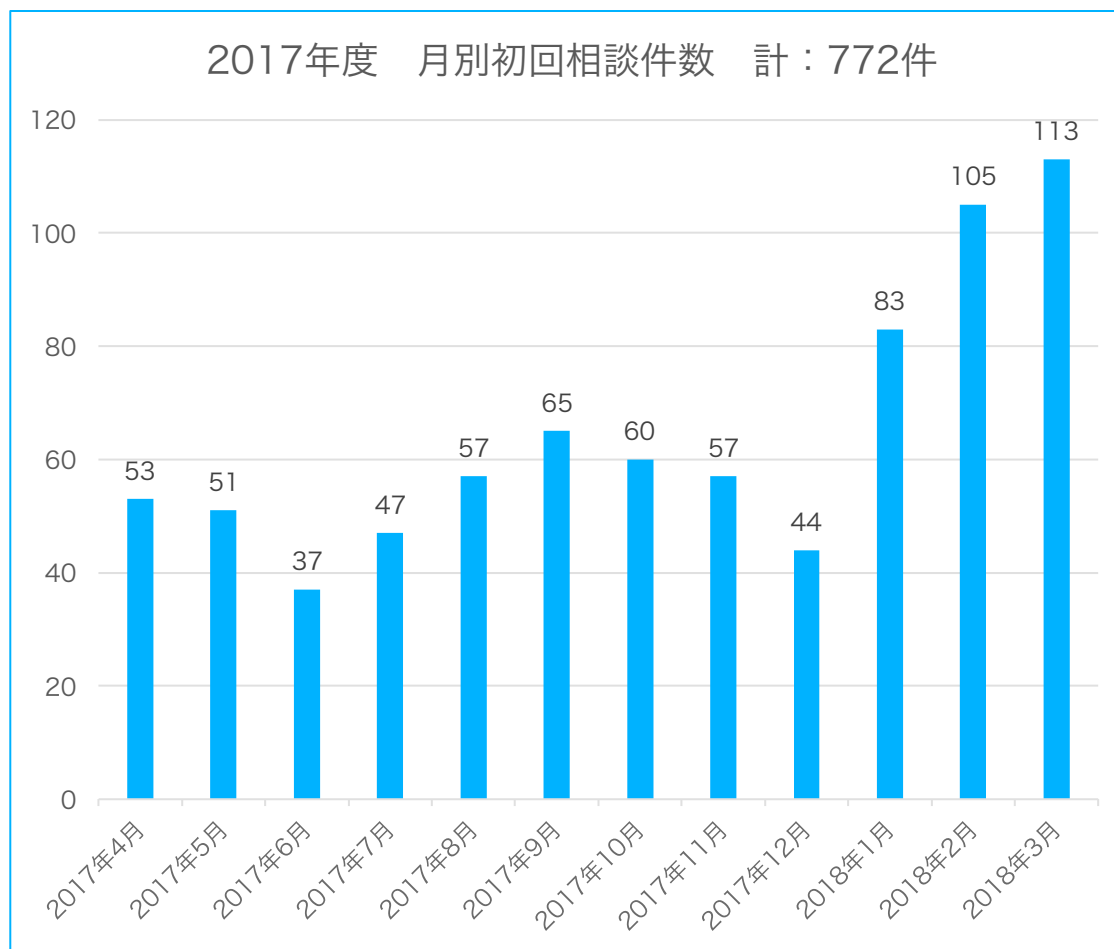
「にんしん」にまつわる全ての  
「困った」、「どうしよう」に寄り添います



# 2017年度の初回相談件数は772件（2016年度は396件）

増加の理由として考えられることは

- ① 相談窓口の認知度の向上（新聞・メディアに取り上げられた・新書の出版・携先からの紹介など）
- ② ニーズの顕在化
- ③ アクセス方法の改良（メール・電話・無料電話アプリ・twitterなど）

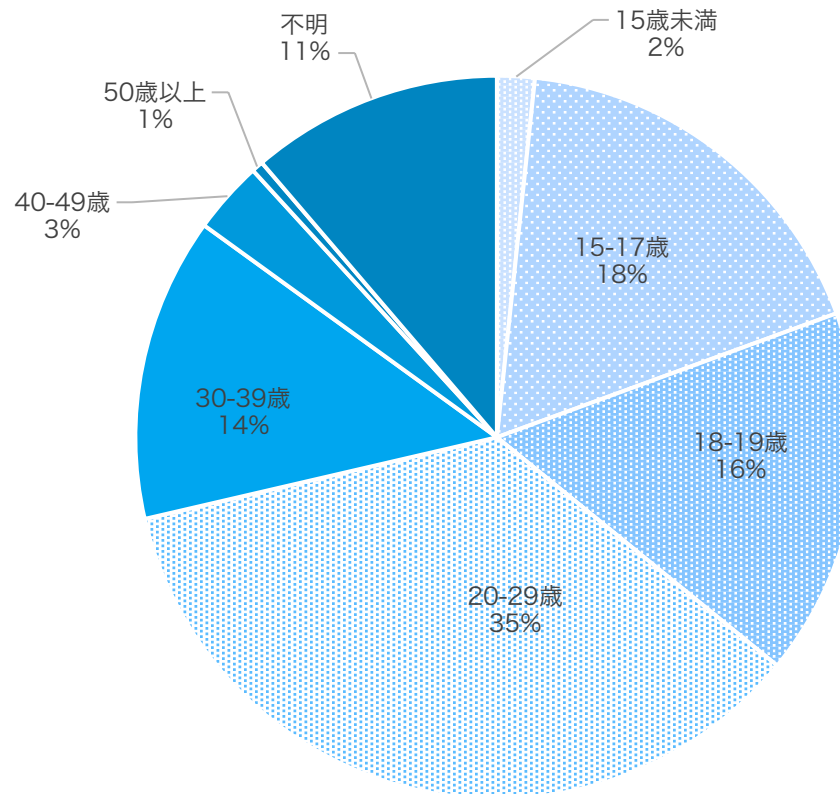


# 若年からの相談が多い

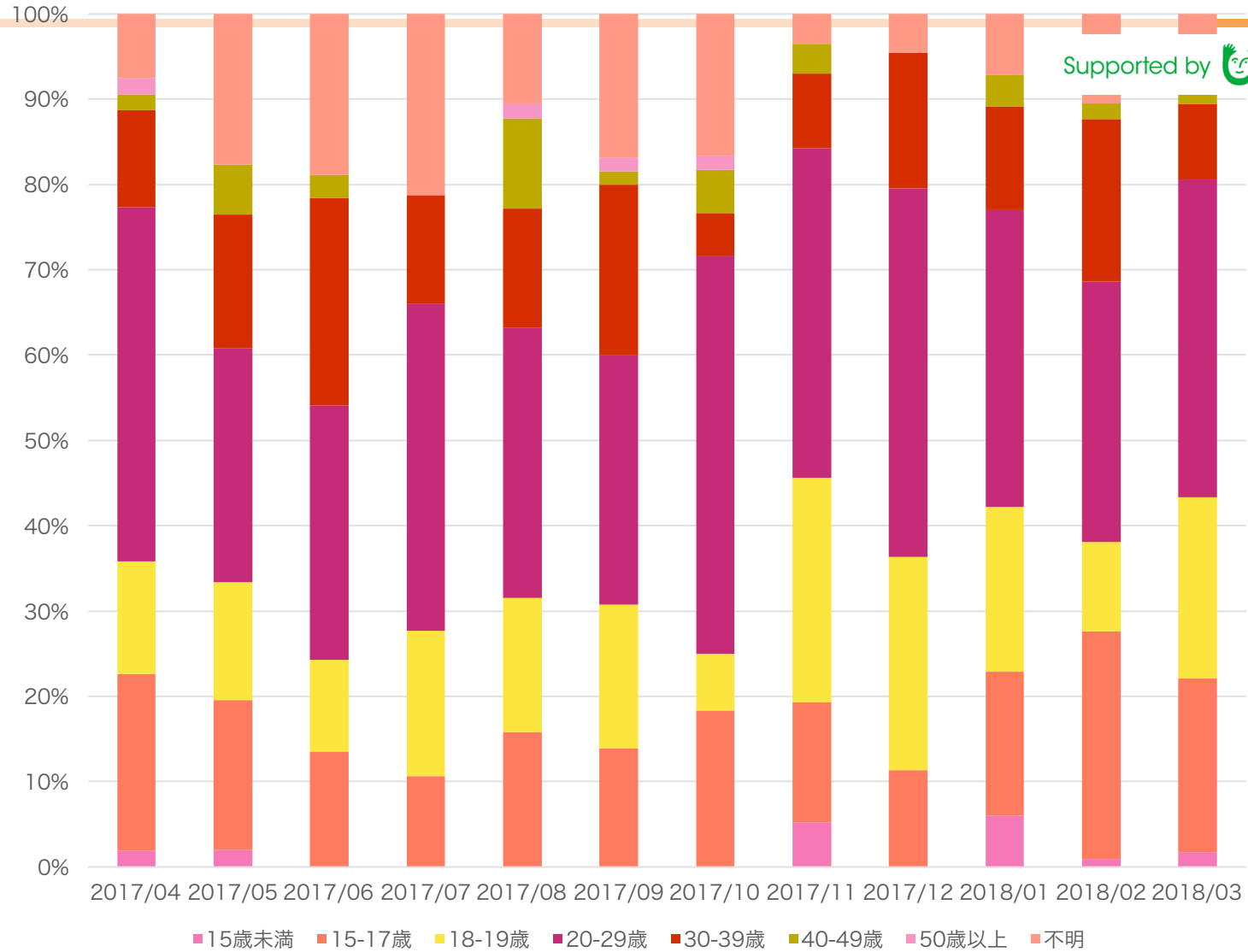


Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

相談者年齢内訳



# 相談者年齢 割合

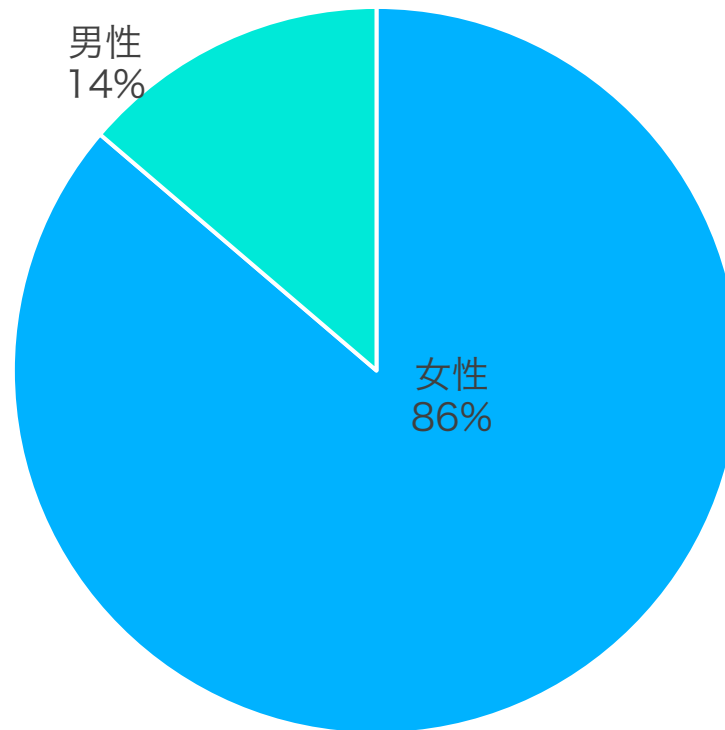


# 男性からの相談が14%



Supported by  日本 THE NIPPON  
財団 FOUNDATION

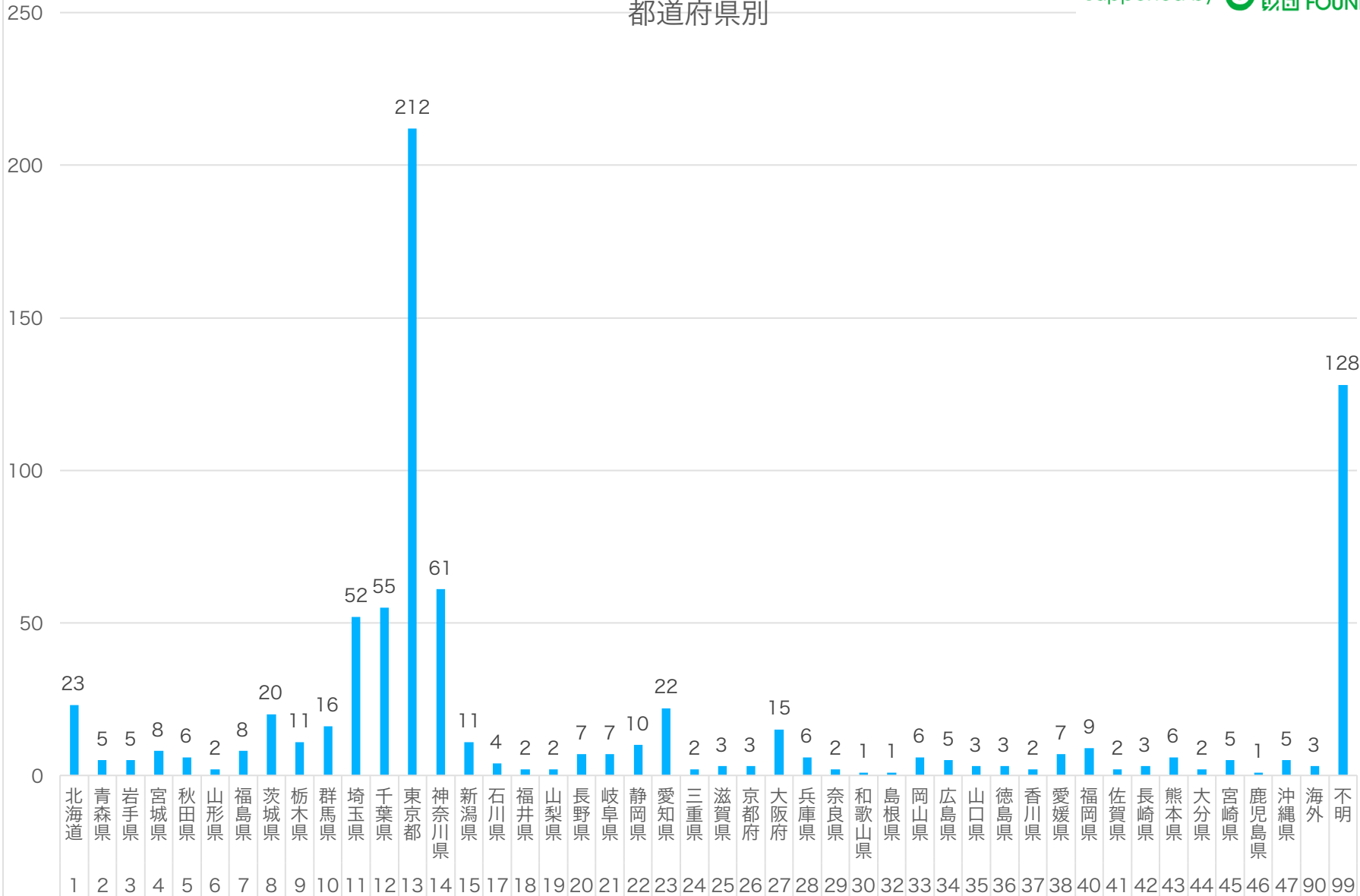
性別



# 全国から相談が寄せられる・50%が首都圏から

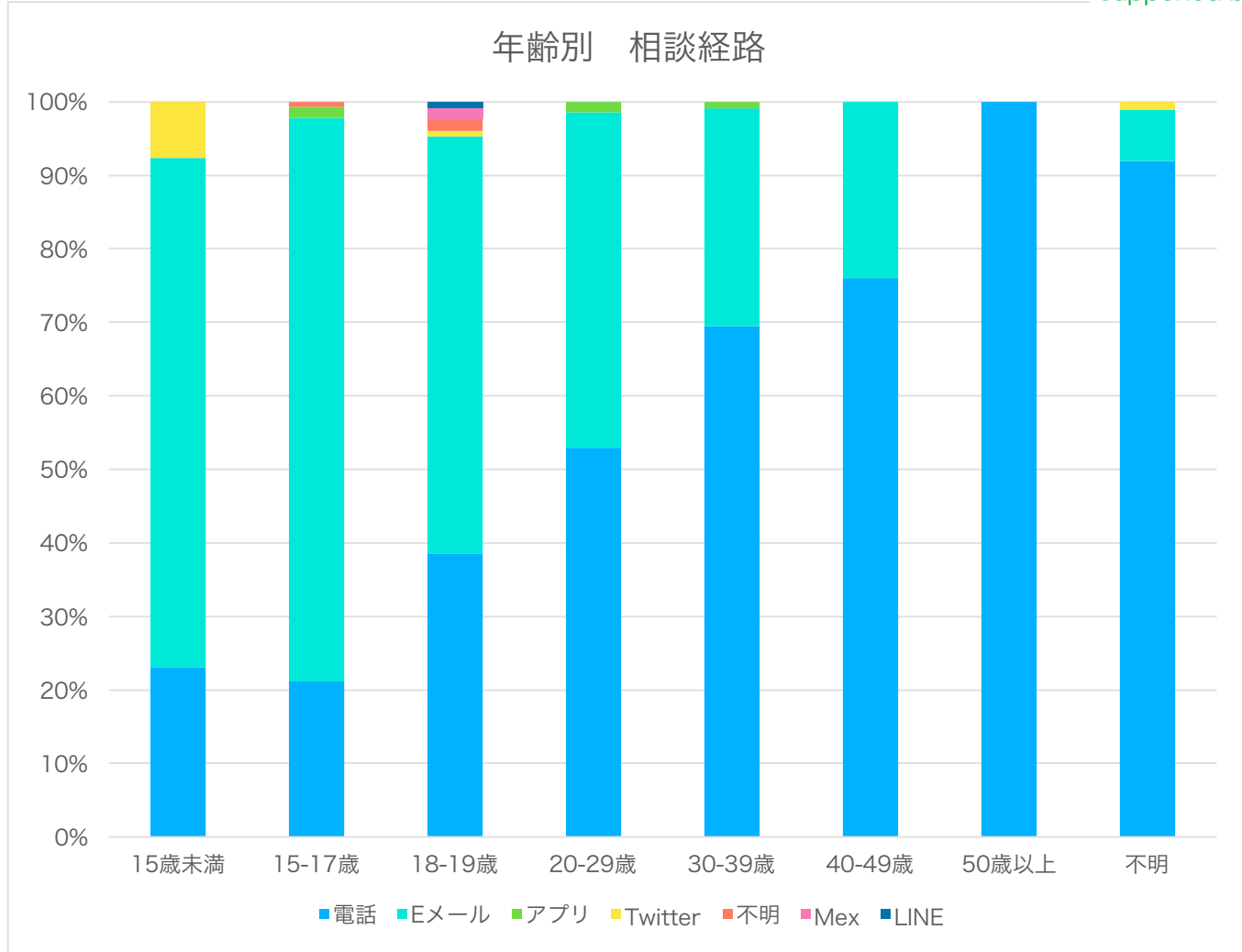
Supported by THE NIPPON FOUNDATION

都道府県別



# 若年からの相談はメールが多く、年齢が上がると電話が増える

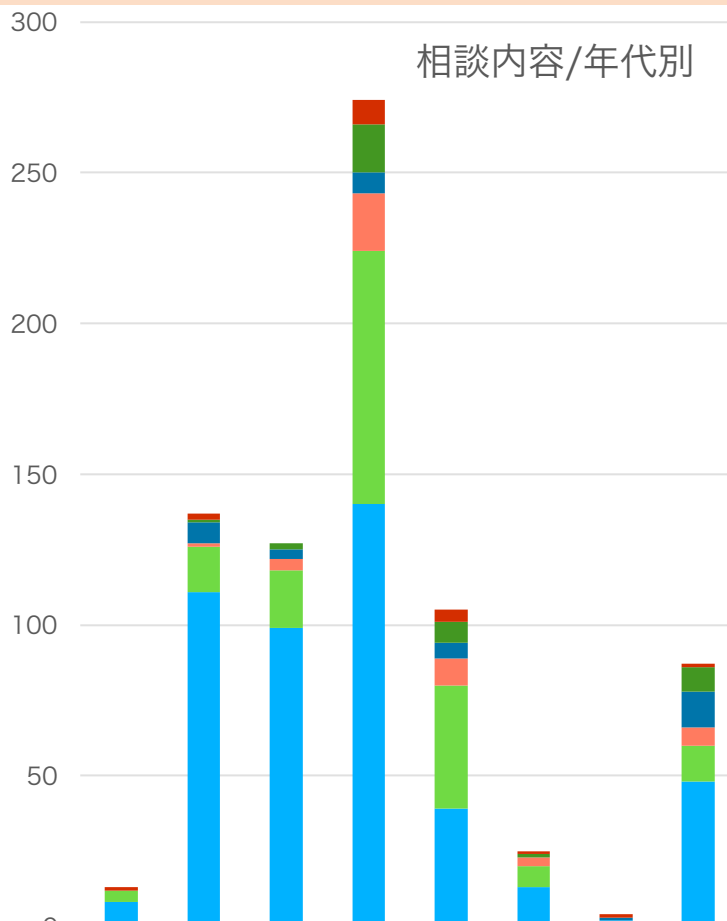
Supported by 日本 THE NIPPON FOUNDATION



# 妊娠を確認してからの相談は20代・30代が多い



Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



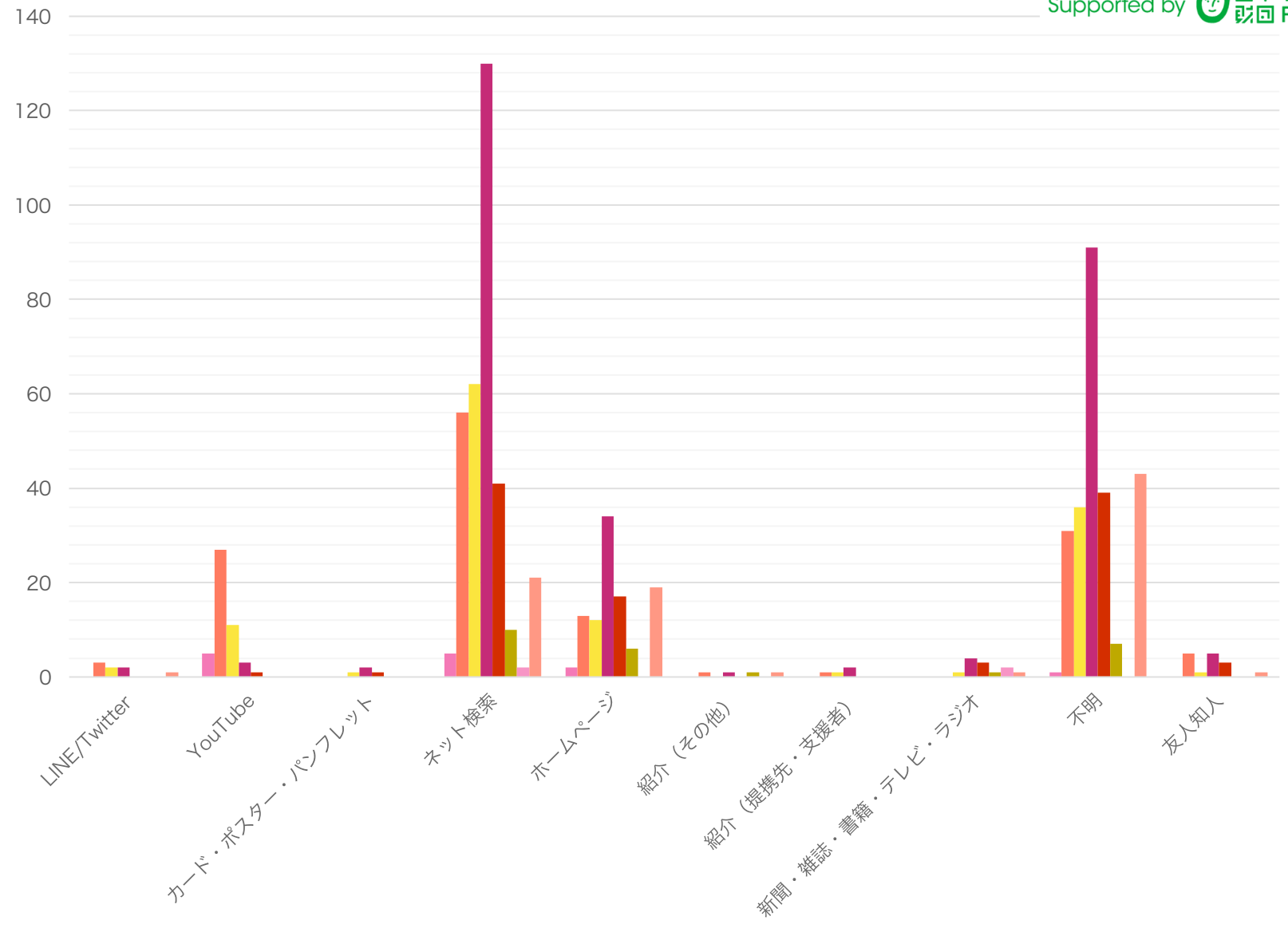
相談内容	15歳未満	15-17歳	18-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50歳以上	不明
出産・養育に関する相談	1	2		8	4	1	1	1
妊娠・出産前後の不安		1	2	16	7	1		8
その他		7	3	7	5		1	12
中絶について		1	4	19	9	3		6
思いがけない妊娠	4	15	19	84	41	7		12
妊娠・避妊に関する相談	8	111	99	140	39	13	2	48



# どのようににんしんSOS東京を知ったか

■15歳未満 ■15-17歳 ■18-19歳 ■20-29歳 ■30-39歳 ■40-49歳 ■50歳以上 ■不明

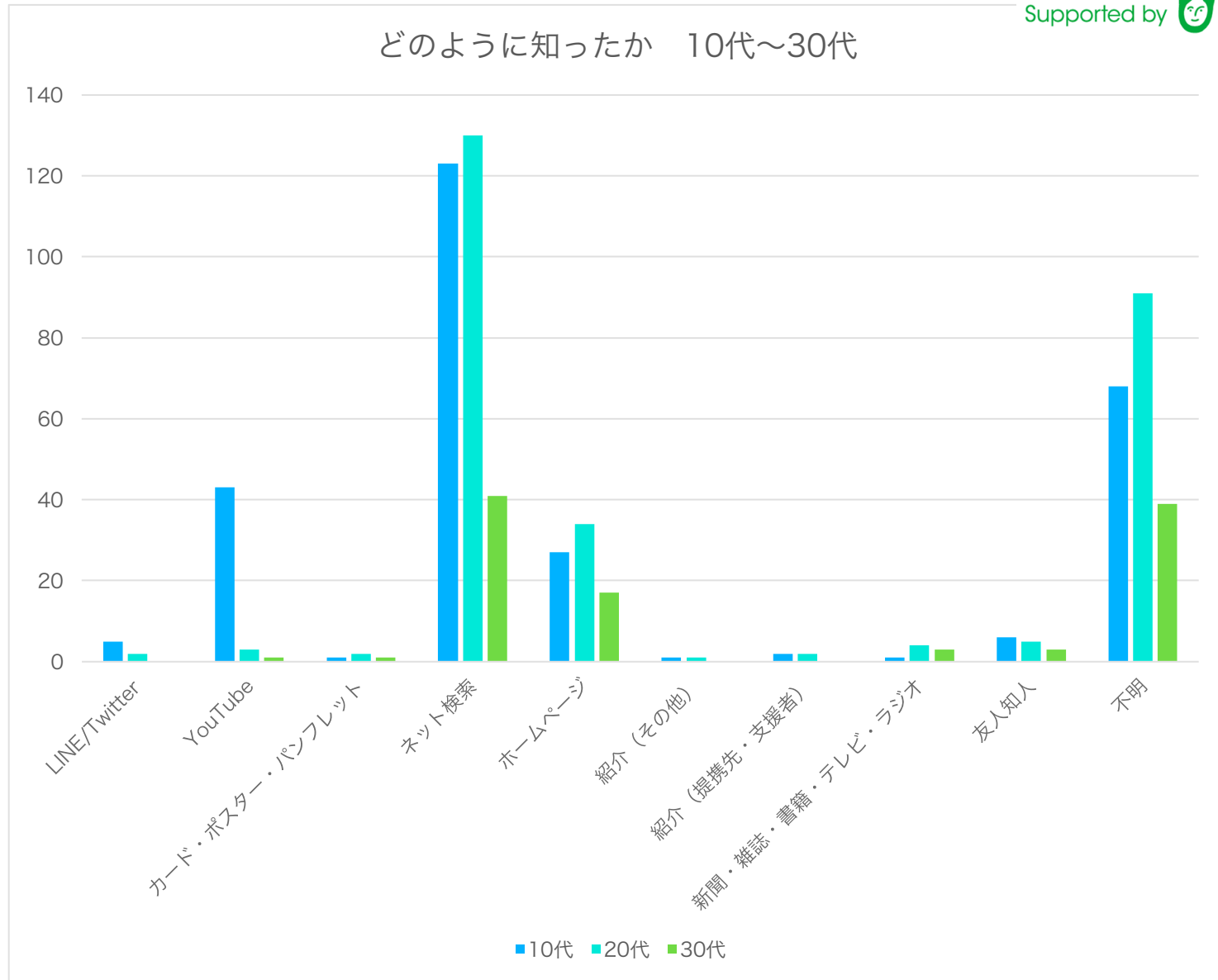
Supported by  THE NIPPON FOUNDATION



# 10代からの相談はyoutube経由の相談が突出している



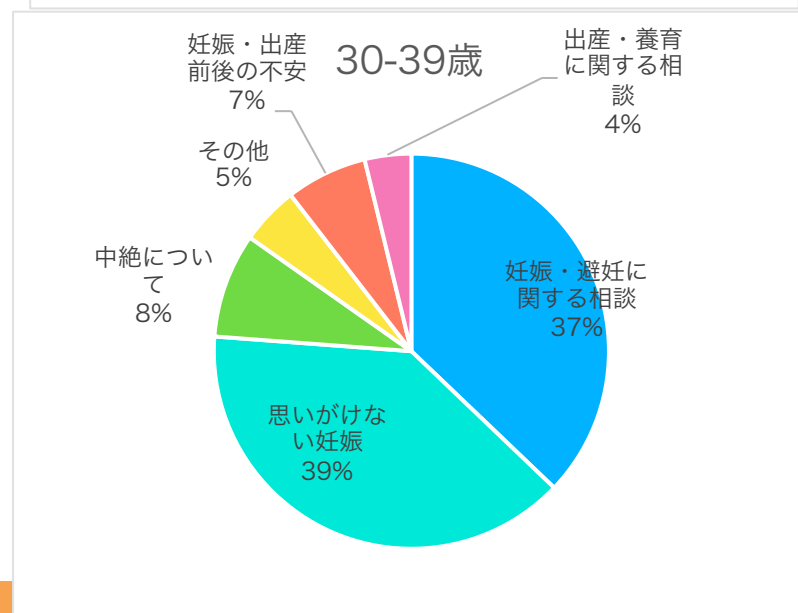
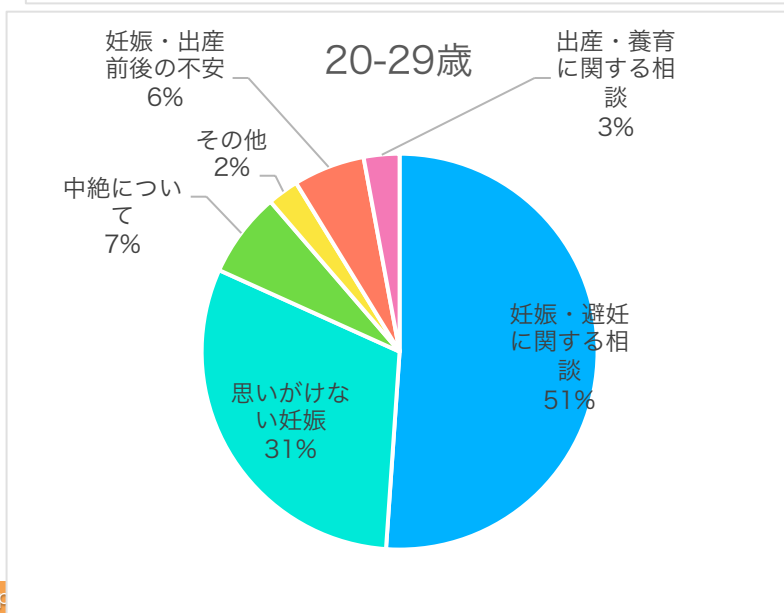
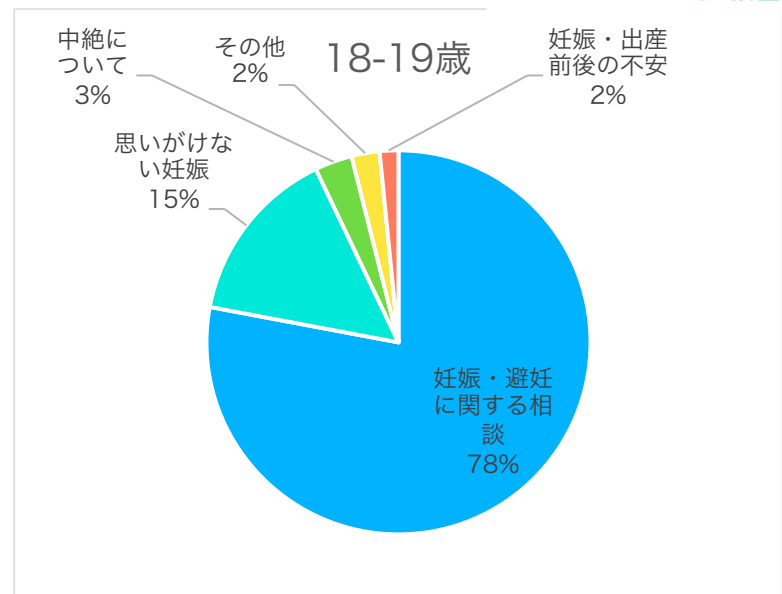
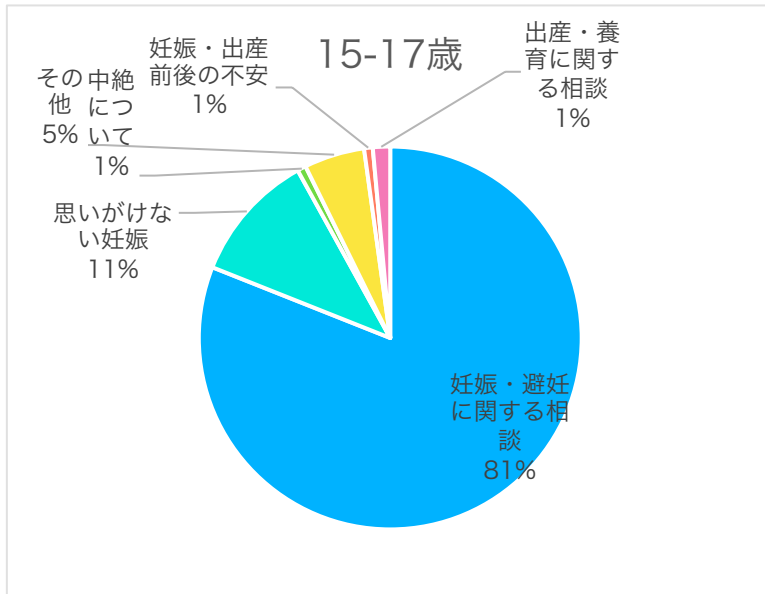
Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



# 若年は妊娠・避妊に関する相談が多い→オーダーメイドの性教育を実施



Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION



**出生数は98万人**

**中絶件数は18万件**

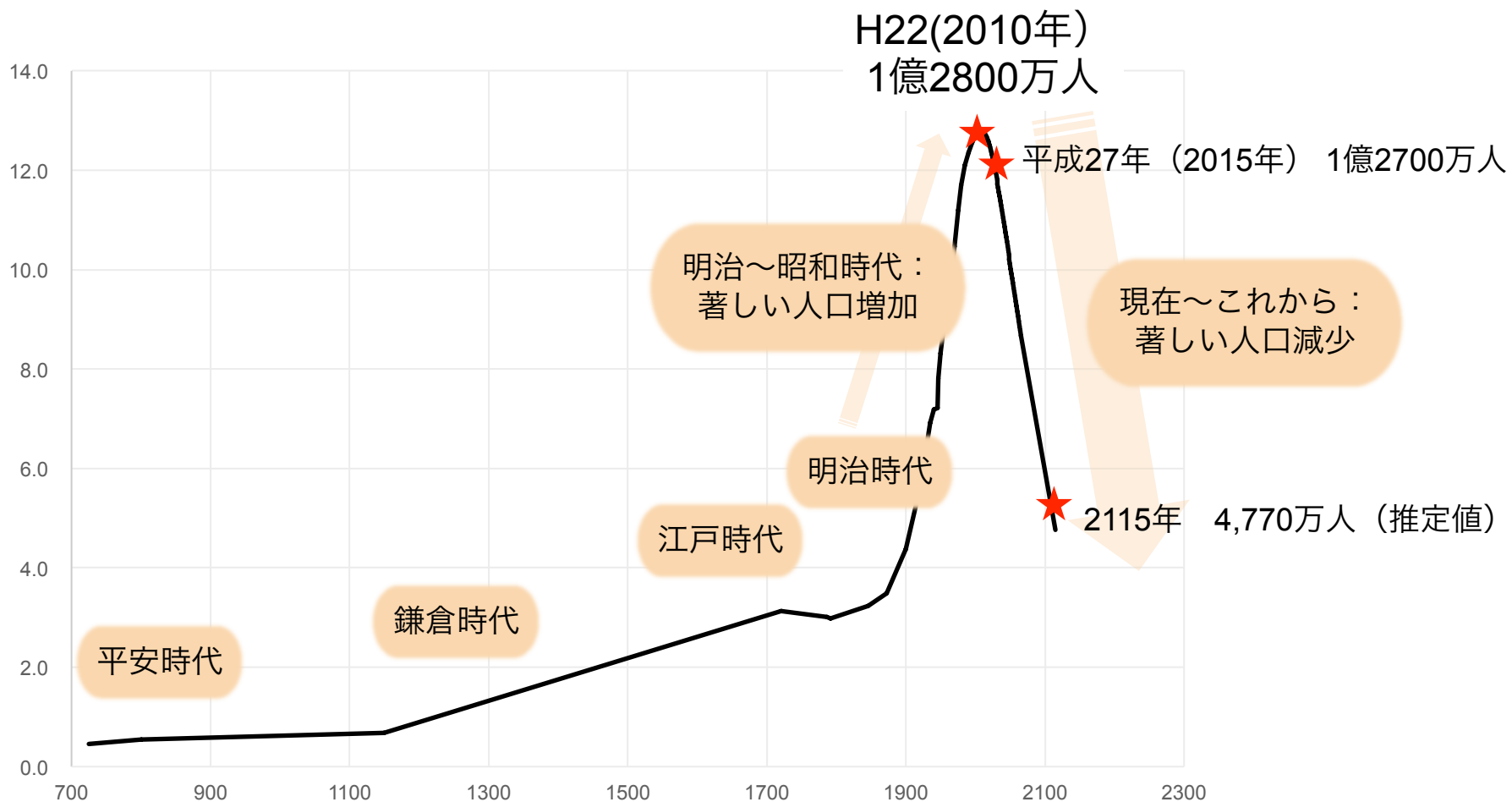
**年間死亡者数は130万人**

全妊娠の19%が中絶している  
40代の妊娠は中絶を選択する人が多い  
中絶を繰り返す人が35%

# 日本の人口推移とこれから

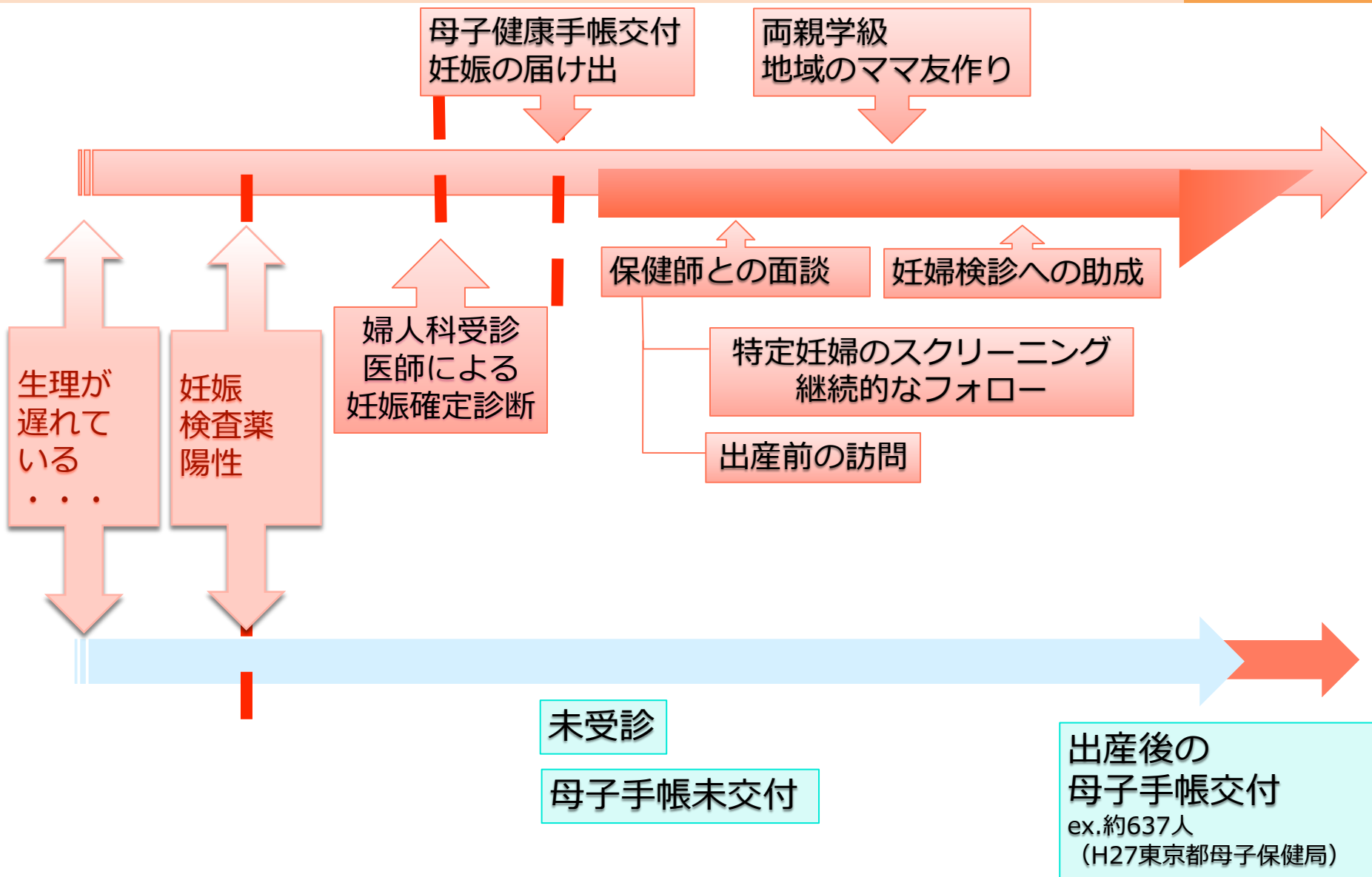


単位：千万人

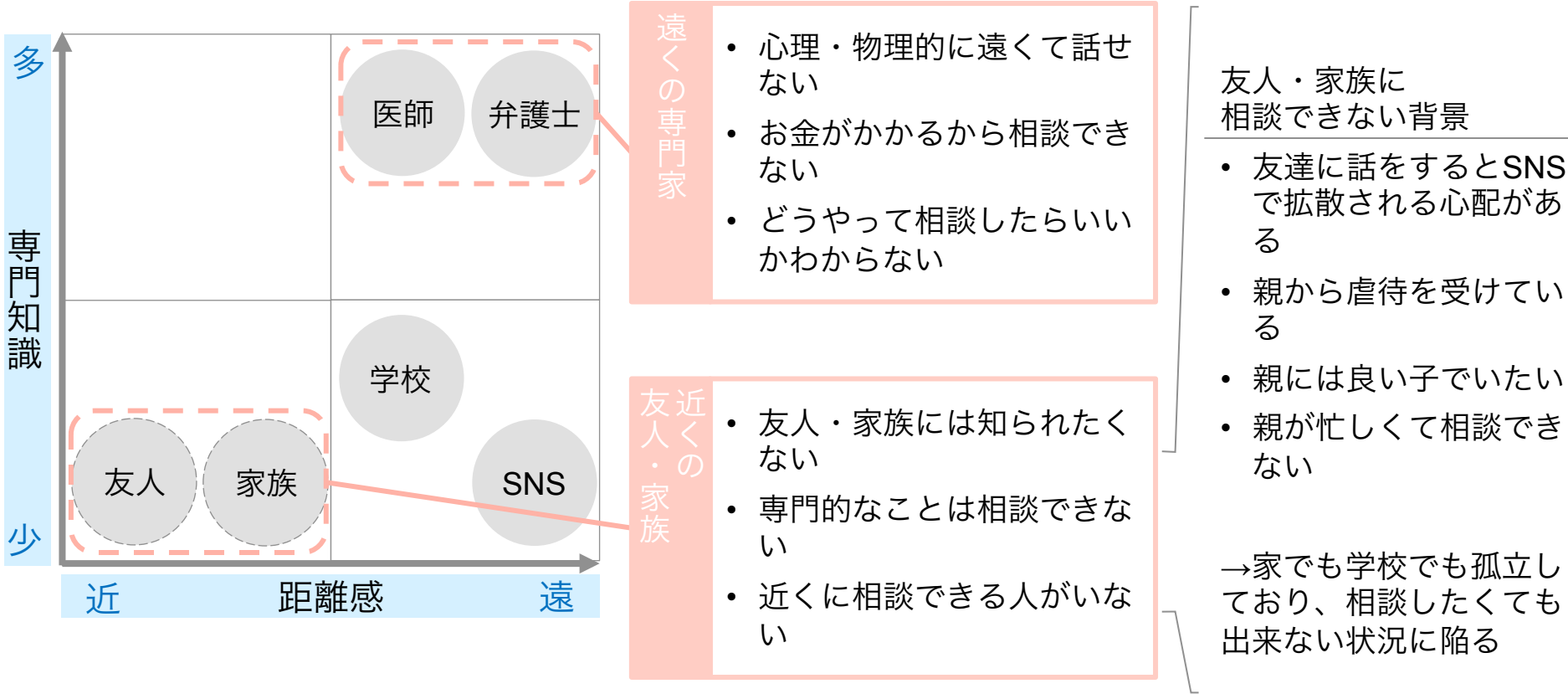


データ出典：国立社会保障・人口問題研究所  
(2015年～：出生率1.4と仮定し算出)

# 母子保健関連施策



# なぜ悩みを抱え込んでしまうのか？



悩みを相談したくてもできない状況に陥り、一人きりで抱え込んだり、顔の知らないSNSの大人に相談したりしてしまう

# 社会に必要とされている仕組みとは何か？

思いがけない妊娠を  
繰り返してしまう人たち

中絶のピークは10代と40代

0日目の虐待死  
母子手帳未交付・未受診

現在の制度では繋がることの  
できない超ハイリスク妊婦

相談し辛い  
社会や人間関係

周りにバれることを恐れ、  
一人で悩み抱え込んでしまう

にんしんSOS東京はこの3つの条件が重要であると考えています

1. 「産む」「産まない」に制限されず、相談できること
2. 妊娠の可能性があるその時から繋がれること
3. 匿名性が守られ、安心して相談できる環境であること



# 他の妊娠相談窓口との違い



## 一般的な妊娠相談窓口

- 看護師・助産師・保健師によるサポート

- 匿名による単回相談

- 相談者が求める情報提供

- 匿名でのWebサービス・電話やメールでの単回答で対応

## にんしんSOS東京

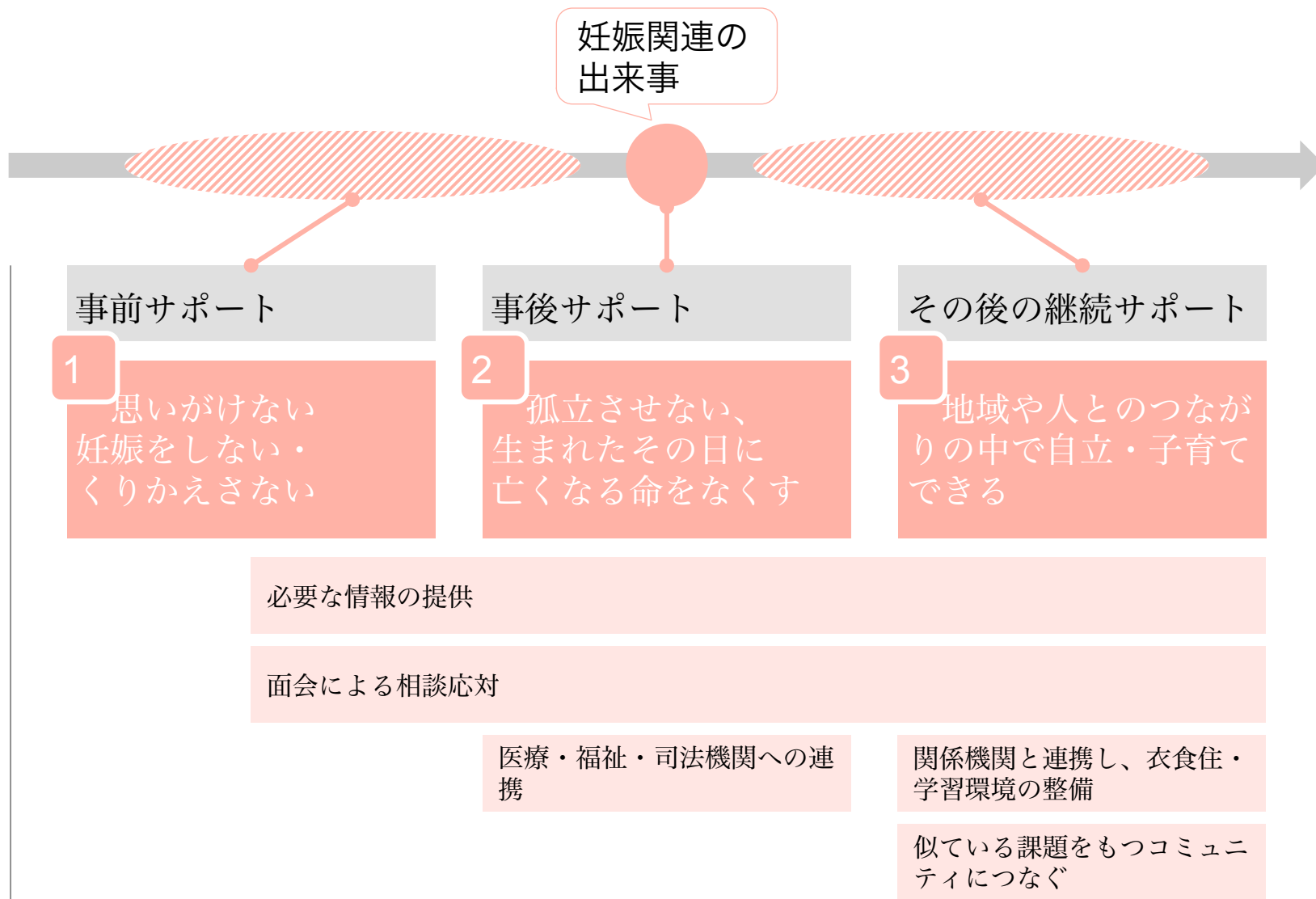


- 看護師・助産師・保健師に加え、医師による医療サポートの充実
- 社会福祉士や弁護士による医療以外の面からもサポート

- 匿名から顔の見える関係に継続支援

- 情報・役割・情緒・評価の機能も果たす
- 相談者の友人・親代わりとして、私生活も含めた相談の対応

- 抱える事情によっては実際に会い、関係機関に繋ぎ、自立までをサポート



妊娠関連の  
出来事

事前サポート

1

思いがけない  
妊娠をしない・  
くりかえさない

事後サポート

2

孤立させない、  
生まれたその日に  
亡くなる命をなくす

その後の継続サポート

3

地域や人とのつながり  
の中で自立・子育て  
できる

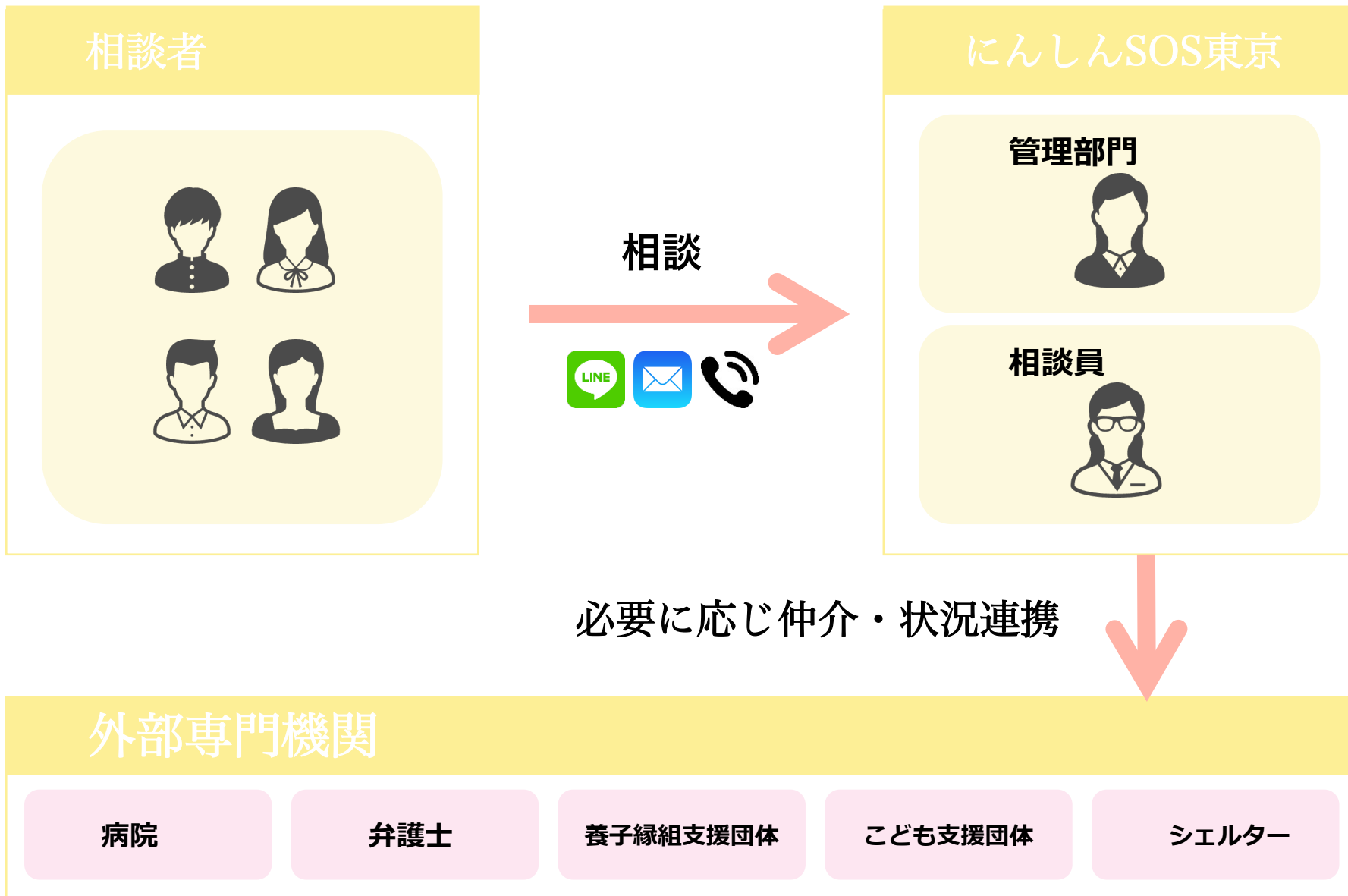
必要な情報の提供

面会による相談対応

医療・福祉・司法機関への連携

関係機関と連携し、衣食住・  
学習環境の整備

似ている課題をもつコミュニ  
ティにつなぐ



## 一般的な妊娠相談窓口

- 看護師・助産師・保健師によるサポート体制
- 匿名による単回相談
- 内容：相談者が求める情報の提供に限定
- 中絶に対する相談窓口が少ない

## 課題

- ①福祉・法的な専門職者によるサポート体制が不足
- ②相談者の問題意識のない課題にアプローチすることができない
- ③相談内容が限定される
- ④産む・産まないのどちらの選択にも開かれた相談窓口の不足

## 課題

- ①福祉・法的な専門職者によるサポート体制が不足
- ②相談者の問題意識のない課題にアプローチすることができない
- ③相談内容が限定される
- ④産む・産まないのどちらの選択にも開かれた相談窓口の不足

## にんしんSOS東京



- 看護師・助産師・保健師に加え、医師による医療サポートの充実
- 社会福祉士や弁護士による医療以外の面からもサポート
- 匿名から顔の見える関係に継続支援
- 情報・役割・情緒・評価の機能も果たす
- 相談者の友人・親代わりとして、私生活も含めた相談の対応
- 抱える事情によっては実際に会い、関係機関に繋ぎ、自立までをサポート

# 相談体制及び対応可能な相談内容



相談者さんの生活そのものを支援できる体制が整っています。

必要に応じ、他団体・医療機関、行政機関と連携を行います。

資格タイプ	人数	身体の悩み	妊娠・出産の悩み	トラブル
助産師	6	○	○	
看護師	8	○	○	
保健師	5	○	○	○
医師	3	○	○	
社会福祉士	6		○	○
保育士	2		○	
教員	1		○	
弁護士	1		○	○

# 相談者さんへのエンパワメントと私たちの機能



情報

情緒

依存先・社会的  
資源の獲得

地域の中でその人なりの生活を  
送れるようになる

NSOSTと1対1の  
関係構築

顔の見える関係になる

NSOSTと繋がる

役割

評価